



建交労



2018年10月16日
建交労神奈川県南支部
2018年秋季年末闘争
推進ニュース⑦通算 96
発行責任者 佐藤 章

畠野さんの運転手復職を求める要請 味の素に全国からの署名 825 筆手渡す

建交労神奈川県本部と県南支部は10月15日に、味の素(株)の関連子会社である味の素物流㈱に対して建交労組合員で、味の素物流㈱で働く畠野さんを一日も早く本来の運転業務に復職させるよう求める要請(別紙要請書)をおこないました。

要請には県本部の伊藤東一委員長と県南支部の赤羽特別執行委員、当事者の畠野由美子組合員が全国の仲間から寄せられた一次分の署名 825 筆を味の素物流㈱に手渡し早急な対応を迫りました。

トラック運転手の畠野さんが慣れない事務職を強要され収入が月額で6万円～7万円も減少し生活不安が増大しストレスも溜まり、精神的に追い詰められている現状を訴え一方的な不利益取り扱いを一日も早くやめるよう求めました。なお別紙要請書は味の素(株)本社にも送付しました。



署名 825 筆を手渡す県本部の伊藤委員長

川崎労連第 29 回定期大会の続報！ 県南支部からは 5 名の参加でした。



川崎労連第 29 回大会で選出された新役員

10月14日(日)にミューザ川崎で開会した第29回川崎労連定期大会は代議員32名、役員20名、来賓10名の計62名が参加、全川崎地域合同の掛水さんと川崎医療生協労組の渡辺さんの両女性議長が進行し議事運営委員には神奈川県南支部執行委員の須田さんが任命されました。

県南支部からの大会参加者は推進ニュースNo.56で4名と報告しましたが議事運営委員を務めた須田圭二支部執行委員含め5名でした。

大会では県南支部の佐藤章委員長が三昭運輸分会争議の現状報告・県労委宛の署名協力と労働委員会への傍聴参加要請、さらに味の素物流の畠野さんを運転職に復職させるたたかいの経過報告と署名のお礼などについて発言しました。

川崎労連の主な新体制は、菅野議長、塚原・大貫・横田副議長と佐藤新事務局長の他、県南支部から大島事務局次長、金崎幹事、佐藤貴司会計監査が選出されました。

2018年10月15日

味の素株式会社

代表取締役・取締役社長・最高経営責任者

西井 孝明 様

味の素物流株式会社

代表取締役社長 田中 宏幸 殿

全日本建設交運一般労働組合神奈川県南支部

執行委員長 佐藤 章

同支部 合同分会ユニオンつばさ

味の素物流班長 林 栄淑

畠野由美子さんの運転手への復職を求める要請書

味の素物流株式会社（前関東エース物流(株)）のトラック運転手として約7年間勤務してきた畠野由美子さんは、事故を起こしたことを理由に2017年12月に運転手の仕事を降ろされ、まったく経験のない事務職への変更を強行されました。

その結果、畠野さんの月額収入は大幅に減少して生活が困窮しているとともに、元々はトラック運転手として採用された畠野さんが、慣れない事務職を続けるなかでストレスが溜まり精神的にも追い詰められています。

会社が畠野さんをトラック運転手から下ろした理由とする「油漏れ事故」の背景には昼食休憩も取れない過酷な業務を強いられたことによる可能性が高く、また、帰宅途中の交通事故については畠野さんの不注意が原因とは言え、法的な処罰もなく会社の実質的な損害はありませんでした。

それまで畠野さんは、関東エース物流(株)のトラック運転手として何ら問題もなく業務を遂行してきた真面目な従業員であり、私たちは今後もトラック運転手として会社に貢献できる人材であると確信しています。

私たちは、運転業務に戻りたいと切望する畠野さんを一日も早くトラック運転手に復職させるよう求める署名にとりくみ、10月15日までに味の素物流に働く労働者を含め800名を超える人々から署名が寄せられました。

私たちは、御社が畠野さんの要望と、畠野さんの思いを共有する働くなかまの声を尊重し一日も早く畠野さんを運転職に復職させるよう改めて強く要請します。

以 上